

令和6年度 東平尾公園 事業評価表

【 指定管理者名 福岡市緑のまちづくり協会 】

各項目の評価基準

評価	評価	提案事項	管理水準
5	10	提案事項を履行し、優れた成果を発揮している。加えて新規事項など評価できる取り組みがある。 (成果指標達成項目数80%以上かつ、新規事項など評価できる取り組みがある場合)	本市が求める管理水準よりも優れた成果をあげている。
4	8	提案事項を履行し、優れた成果を発揮している。 (成果指標達成項目数80%以上)(標準レベル)	本市が求める管理水準を達している。(標準レベル)
3	6	提案事項を実施している。 (成果指標達成項目数50%以上80%未満)	一部、本市が求める管理水準を達していない。
2	4	提案事項を実施したが期待した成果が得られていない。 (成果指標達成項目数50%未満)	ほとんど、本市が求める管理水準を達していない。
1	2	提案事項遂行していない。 (提案事項を遂行していないことに正当な理由がない)	公園管理上著しい失態があるなど、本市が求める管理水準を達していない。

評価	総合点
A	85点以上
B	80点以上85点未満
C	70点以上80点未満
D	70点以上60点未満
E	60点未満以下

項目	配点	備考	委員会評価	
			評価点	コメント
(1)利用者サービスの向上策	20		17	
① 高齢者・障がい者・乳幼児などの社会的弱者や、その他顧客のニーズに応じたサービス向上のための取り組みができていますか。	10	提案事項	8	市が求める管理水準である(標準レベル)。
② 利用者のニーズ把握のための調査への取り組みができていますか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準である(標準レベル)。
③ 条例・公園管理マニュアルを理解し、利用の承認(優先利用を含む)について適正に実施しているか。	5	管理水準	5	公園の共通課題解決のため、各公園の指定管理者による年4回の会議を事務局として率先して開催し、意見交換するなど公園管理の理解を深める機会を創出した。
(2)利用者の適切利用に向けた取組	5		5	
④ 利用者の適正利用に向けた取組ができていますか。	5	提案事項	5	大谷広場のリニューアルにあわせ、大谷広場やアクションの指定管理者と連絡会議を立ち上げ、通常時の管理運営にかかる情報共有や大規模大会開催時の駐車場不足や渋滞対策などの課題を共有し対策を実施した。
(3)公園施設の適切・効率的な維持管理	20		17	
⑤ 提案の内容に適した維持管理計画ができていますか。	5	提案事項	5	球技場の芝生状態を常に把握し、各種大会の開催日にあわせ適切に維持管理を行っており、利用者から高い評価をいただいた。
⑥ 安全管理計画・緊急対応(災害・事故等)計画・保安整備計画ができていますか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準である(標準レベル)。
⑦ 実施協定書に記載されている管理頻度は達成されているか。	10	管理水準	8	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)。
(4)公園の特色を活かした事業展開	15		12	
⑧ 指定管理者企画事業による施設の活用はされているか。	10	提案事項	8	市が求める管理水準である(標準レベル)。
⑨ 公園特色を活かす取り組み(集客向上策・広報計画)が出来ていますか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準である(標準レベル)。
(5)運営体制と人材の確保	20		16	
⑩ 配置する予定職員の公園管理に必要な専門性・資格や経験職員の育成に必要な研修を行っているか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)。
⑪ 地域との連携	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)。
⑫ 市担当者の指示又は協議事項を確実に実行しているか。	5	管理水準	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)。
⑬ 協議録・日報・報告書等の関係書類が整理されているか。	5	管理水準	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)。
⑭ 「歳入の手引き」を理解し、適切に実施しているか。	5	管理水準	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)。
(6)施設の管理運営に要する経費	5		4	
⑮ 施設管理に要する経費の削減について、申請者が運営費見積提案書で提示した指定管理料の額、及び削減の具体的項目、実施手法はできていますか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準である(標準レベル)。
(7)団体の財務的基礎	-	-	-	
⑯ 借入金依存度	-	-	-	
自己資本比率	-	-	-	
(8)社会的貢献とコンプライアンス、環境への配慮	5		4	
⑰ 社会的貢献とコンプライアンス、環境への取り組みができていますか。	5	提案事項	4	市が求める管理水準レベルである(標準レベル)。
(9)その他	10	-	10	
	10	提案事項	10	高校総体陸上競技大会をはじめとする各種大規模大会について、競技団体や地域などの関係機関と連携・調整し、適切に開催をサポートした。
評価 総合点			85 /100点	(評価) (8)社会的貢献とコンプライアンス、環境への配慮について、アビスパ福岡をはじめとする様々な競技団体や関係機関と連携・調整を円滑に実施しており、中でも、高校総体陸上競技大会開催にあたっては、地元や各施設間との連携・協力のもと、無事に実施したことが評価できる。 (3)公園施設の適切・効率的な維持管理について、ベスト電器スタジアムのスポーツターフ管理については、各種競技に合わせてピッチを仕上げ、高質なピッチコンディションを提供できており、Jリーグ事務局が毎試合ごとのピッチ評価でも、全体として上位の評価がされ、アビスパ福岡(株)からも感謝状を授けられた。 (課題) 公園設置から約30年が経過しており、施設の老朽化については、予算も限られている中で、計画的な改修が必要となるため、日常の維持管理・修繕を継続して実施するとともに、工事等の改修が必要な場合、計画的な調査・積算のうえ、市との協議が望まれる。 当施設は、主に各種競技の大会等で利用されることが多いため、平日等、需要が少ない時期において、会議室をワーキング利用できるようにするなど、施設の利活用を積極的に検討することが必要である。